

第29号

発行日:平成13年5月1日

発行所:

東京青山同窓会事務局

〒107-0062

港区南青山3-18-4-304

(有)ジェイ・クラブ内

TEL. 03-3423-3591

発行者:佐藤 邦雄

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—

1口/1,000円2口以上(年間)

会計幹事:山根 伸之(64回)

振込先

安田信託銀行 本店

普4782496 東京青山同窓会

郵便振込口座 00150-9-4074

平成12年度 東京青山同窓会総会

平成12年11月17日(金) 於:ホテルニューオータニ

平成12年11月17日、日中からのあいにくの雨にもかかわらず、120名に及ぶ参加者を迎え12年度総会が開催されました。

近年、春の新人歓迎会を充実させてきた甲斐あって、100回生以降の若い参加者が多く会場は若さあふれる熱気に包まれ、斎藤英四郎名誉顧問も目を見張られておられました。

中でも東大野球部の女性投手竹本恵さんの洗刺とした姿が印象的です。議事も105回の柳通こずえさんの微笑ましい司会によって軽やかに進み、各報告がつつがなく承認されました。

新潟からは上村会長、宮沢校長をはじめ5名の方が遠路ご出席くださり、新潟の近況報告と当会開催のお祝いのお言葉をいただき、また関西支部からの代表として83回松本和彦氏が参加され今秋の会合に50名もの参加者があったことなどの報告を聞き、関西の熱気を感じ東京と

しても一層頑張らねばとの思いを深めました。

続くアトラクションでは、日本でただ一人の「オペラ落語家」ウーロン亭ちゃ太郎さんの軽妙な話術で盛り上がり、最後は新旧校歌斉唱、ホールを揺るがすような応援歌でのエール交歓でお開きとなりました。

その頃には、降りしきっていた雨も上がり、夜まだ浅しとばかりに半数近い50余名が2次会場へ移動。ここでも若い参加者が多く、1次会とはまた違った、豪放でありながらもどこかほのぼのとした新旧の交流が生まれている様は、幹事の胸を熱くする光景となりました。20世紀を締めくくる総会として心に刻むと同時に新世紀への期待と意欲を新たにし、同窓会の果たす社会的な意味を再確認いたしました。

総会報告(日下部 朋子 82回)

平成11年度決算報告及び12年度予算

収入の部(千円)

費目	11年度決算 H11.10.1/12.9.30	12年度予算 H12.10.1/13.9.30	備考
前年度繰越金	2,026	2,023	
年会費	2,111	2,200	1,100名x2,000
総会々費	832	1,100	130名
新人歓迎会 (講演会)	683	820	110名
協賛金	8	45	カード30枚x1,500
本部補助金	500	500	
雑収入	12	12	
合計	6,172	6,700	

支出の部(千円)

費目	11年度決算 H11.10.1/12.9.30	12年度予算 H12.10.1/13.9.30	備考
総会費	1,242	1,400	
新人歓迎会費	853	1,100	
事務局費	125	150	
会議費	152	180	
通信費	749	800	
印刷費	969	1,000	会報2回発行
振替手数料	59	70	
次年度繰越金	2,023	2,000	
合計	6,172	6,700	



ごあいさつ 「新人歓迎会で元気な顔を」

会長 栗林 貞一(59回)

東京青山同窓会の皆さんお元気ですか。時のたつのは早いもので、また恒例の新人歓迎会がめぐってきました。胸をふくらませて故郷を後にした若者達を暖かく迎えてあげましょう。

今回の新人歓迎会では59回の牛木素吉郎氏の講演を予定しています。彼は講師紹介の欄でもおわかりのとおり、日本のみならず世界のサッカーに極めて造詣が深く、当日は「新潟と2002年ワールドカップ」と題して話をしていただくことになっています。新潟でも試合が行われることもあり、興味のある話が聞けるものと思います。

本年10月には母校の校舎竣工及び創立110周年の記念行事が新潟で行われます。明治、大正、昭和、平成にわたって有為の人材を輩出し、地元新潟は勿論、日本のために尽くしてこられたわが同窓の方々を誇りに思い、また新潟中学校、

新潟高校のすばらしい伝統と実力にあらためて感じ入る次第です。

偶数月第2火曜日の会は、ときに幹事会と合同で開催し盛会です。こちらの方まどうぞお出かけください。

母校を卒業し、新たに同窓会の会員とられた皆さん、故郷を離れてもわが同窓会には立派で楽しく、かつ気楽につき

あえる諸兄弟がたくさんいます。同窓会の会合ではそのような人達とどんな話もふんだんに出来ます。一緒に有意義な東京の生活を送り、21世紀を楽しく力強く生きていきましょう。お誘い合わせ、6月22日、新人歓迎会に是非出席して下さい。



2000年 新人歓迎会の模様

偶数月 第2火曜日の会 2000年忘年会

恒例になりつつある偶数月第2火曜日の会の忘年会が去る昨年12月12日に行われました。当日は40数名あまりの参加にて大盛況のうちに終了いたしました。

引き続き偶数月第2火曜日の会を開催しております。皆様お誘い合わせの上ぜひご参加下さい。



▶ 新潟情報 ◀

平成14年は本校創立110周年にあたりますが本年の新校舎竣工を期し1年前倒しにて平成13年10月20日に記念式典が行われる予定です。

実行委員会会長	上村 光司
常任委員	厚地 武
"	小林 亨
"	敦井 栄一
"	早稲 卓
"	上杉 雅之
"	石田 瑞穂
総務部長	北村 泰作
事業部長	石本 隆太郎
行事部長	山内 幹夫

詳細は青山同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL 025-266-5268

寄稿

第二外国語中国語について

あほのりこ
阿保 聖子(86回)
聖心女子大学 中国語教師

大学で第二外国語の中国語を教えて十年ちょっとになる。二外の人気は世界の大きな出来事に影響されることが多く、例えばベルリンの壁崩壊で独語が、バルセロナ五輪では西語が注目され、今年はワールドカップ日韓共同開催により朝鮮語(韓国語)が大人気である。中国語は鄧小平による改革開放が推進されて以来かなりの人気を保っている。

二外の授業が、世界の流れに乗ろうとこうした学生の要望に応じているか

というと、残念ながら理想とはまだまだ距離がある。しかし私が教え始めた頃と比較して授業形態及び内容は随分改善された。先ず1クラスの学生数が少なくなった。以前は70人が普通で学生の名前すら覚えきれなかったが、今は40人弱で個々のチェックが可能である。(理想は10人以下なのだが。)更に中国人教師の増加によりネイティブの中国語に接する機会が増えた。又、中国語教育法の研究も盛んになり、学生の興味を引きそうな教科書・視聴覚教材が次々登場。

ちなみに私が教える女子大では、一年次に日本人教師の授業2コマ+中国人教師の授業1コマ、二年次に講読か会話を1コマ(両方可)+LL教室でのトレーニ

ング1コマが必修である。更に中国事情やコミュニケーションの授業が選択できる。

又学外でも十年前には全く存在しなかった「町の生きた中国語」にふれることができる。電車に乗れば中国人の会話が聞こえ(何故か目立つ)、バイト先には中国人留学生がいて、ヨドバシカメラや伊勢丹でも中国語の案内アナウンスが流れている。これらを常に意識していたらかなりのレベルに到達できると思われる。

新たな改善は必要であるが学内学外での学習環境はプラスの方向に進んでいる。後は、如何に学生の心を掴み学習意欲を起こさせるかという教員側の匙加減にかかっているのかもしれない。

同期会報告

スコティッシュの気配り

安宅 久憲(61回)

昨2000年8月に同期の猪間、小林、竹尾、鶴巻、宗村の諸君と私、それに岡村君らと英国へゴルフの旅に行ってきた。事の発端は数年前新潟・関屋中学の同期会でゴルフ好きなのが「一度はセントアンドリュースでプレーしてみたいもんだなァー」と洩らしたら岡村が「英国に友人が居るから聞いてみよう」と言う事になり、話はとんとん拍子に進みその友人はゴルフをやるのでと紹介されたのがステンジャーさんであった。

スコットランド生れで今はロンドン郊外に住む酒とゴルフの大好きな鼻の頭が赤く腹のよく出張った、年齢は我々より一歳上のコンサルタントである。5年前初めて遇った時から彼がゴルフ場の選定やホテルの予約など全て親切にやってくれたが、我々は感謝しつつも気楽に好意に甘えてきた。処が96年以来三度の英国遠征を通じて段々判ってきた事はこの人只のゴルフ好きではない、かなりの大物らしい。彼の校友を交えグラスゴーでゴルフをやった時のNO19ホールでのビールを飲みながらの話では彼らの卒業したハイスクールは何と1600年代に創立されたスコットランドの名門校、又我々の滞在中に新聞に載った企業の合併は彼がコンサルタントしたものだった。家の写真を見せても

らったらこれがなかなか大邸宅、そして予約してもらったゴルフコースはセントアンドリュース('00)を始め、カースティー('99)、ロイヤルパークデール('98)、ロイヤルリザム('01)、ミュアフィールド等など全英オープンの開催地がずらりと揃っているのがあった。

その彼の気配りの仕方が実に見事なのである。例えば我々だけで行動している時、ホテルに到着する一時間ほど前に必ずフロントに電話を入れておくれる、だから我々が着くと全て事がスムーズに運ぶのだった。又長距離をチャーターしたミニバスで移動している時は運転手の携帯電話へ道路の混み具合は如何か、予定の時間に到着できそうかとチェックを入れてくれた。ある時は我々の到着が夜9時を過ぎそうになる事が判明するとホテルのレストランに人数分のディナーをオーダーしておいてくれたのだった。又ゴルフ中にお腹が空くだろうとスタート

前、早朝彼自身で市場に行つてバナナを買ってきてくれたりした。諸々の事、彼の気配りは常に先手先手とあまり目立たない所で然し確実に有効な処置を打っておいてくれたのである。

日本で一般的な英国人の気質として印象づけられているのは、仕事はあんまり速くないが内容は確実、背筋を伸ばして真面目な顔をして辛辣なジョークを飛ばす紳士と受け止められているが、彼は全く此れに当てはまらないのである。日本人にも「痒いところに手が届く」と称される気配り、親切心があるが、スコティッシュの「welleducated」のホスピタリティーとはステンジャーさんのようなやり方なんだなあと深く感じ入った次第である。交友関係を末永く大事にしたいと思う。



12年8月14日 フォレストアイツ 9.C (1866年11月全英オープン会場)

スケッチ:小林元雄

Shanghai New!そして日本は?

星野 郁夫(84回)

半年前にビルの名前は変わったが、ビルオーナー会社の担当副部長の事前説明通り、このオフィスビル内の雰囲気は以前と全く変わっていない。上海市内ではダントツにきれいな各フロアー、他にはない(比較的)きちとした管理、地下で1回5元のシャワーを済ませ、濡れたカミで、金曜の夜へ繰り出して行く上海小姐、ロビーに漂うSTARBUCKSの香り…。東京都心に30棟以上のビルを所有するこのオーナー会社は、中国投資の拠点でもある上海の新開発区に建つ、この46階建てのビルの名前を香港上海銀行に、その銀行の入居と共に「売り渡した」。2000年11月13日をもって、俺のオフィスのあるこのビルは「上海森ビル」から「HSBCタワー」となったのである。世紀大通を挟んだ向かいの空き地には、このオーナーの上海次期プロジェクトである、100階建ての新ビル建設が控えている。

俺とはいえば、1日の仕事を終え、黄浦江対岸の有名な外匯の夜景を眼下に、オフィスの戸締りをして、三菱のエレベーターでロビーへ。タクシー乗り場には、いつもの配車係りが…。

「にーち、なーりや?」(どこへ行くのか?)<毎晩顔合わせてるんだから、「お帰りですか?」とか聞いて、おれのアパート名でも言ってみろってんだ。>

「新黄浦酒店公寓。」(しんふあんぷうホテル式マンション)

「しーんわあんぷう!」<毎回大声で叫んでる割には、俺のアパートどこにあるか絶対知らないよ、こいつ。言われた事を叫ぶまでが、こいつの仕事で、タクシーの運ちゃんが分かるうが分かるまいが、この俺が目的地までたどり着こうが、途中で路頭に迷おう

が、is not your business = 没関係 なんだろ? (いつものことなのに、つい戦闘モードになってしまうイケナイあたし…。)>

案の定、乗りこむなり運ちゃんが「ちー、なーりーだ?」(同上)<どうせ、こう聞かれるのよね。>

「新黄浦酒店公寓。」(同上)

「……」<知らないなら、知らないと言ってくれえ…>

「永寿路」

「……」<知らないなら、知らないと言ってくれえ…>

「延安東路、西藏路」

「……」<「いえん、えあーん」ってちょっと発音難しいんだよな。最初から、「延安路」って言えば良かったよ…。>

「延・安・東・路、西・蔵・路」

「……」<あああつ、ゆっくり言えば言うほど、相手が考えすぎて通じないんだよ。>

「延安…」

「つーたお。」(知道=知ってる。)<分かってんなら、早く言えよ!>

こんな感じで、一見洗練された都市空間に見える「旬の Exiting City 上海」で3年間過ごしました。中国語も日常会話程度な

ら何とかこなせるようになったし、中国人の友人(ホントの友達ですよ。中国人がよく大安売りする「老朋友」(ラオ・ポン・ヨー)じゃないよ。)も結構出来ました。しかし、このような改革・開放激変都市にあっても、その構成員である人間のメンタリティは一朝一夕に変わるわけではなく、洗練された外観(実は中はそれほどきれいではない)のビル群同様、中身に触れて日本人のフィーリングとの違いにビックリの人が圧倒の多数です。当たり前ですが、ここは外国であって、逆に日本人と外観が似ている分だけメンタリティの落差が大きく感じられるのも当然なんですね。

帰国後1ヶ月、米国偵察機不時着、教科書検定、農産物セーフガード、李登輝来日…等々で、対中国外交問題が紙面をにぎわしていますが、中国帰り直後の私の目から見ると、日本政府と世論の反応は、上記のようなわけのわからない国家に対して、実に現実みに欠けているように映ります。「すべての人が、もっと現実的に国益を考えた日本外交を応援しなければならぬ。」…というのが、はじめての海外勤務を終えて帰った私が出た最大の教訓でした。



同窓生Yellowpagesその1

ワインカフェ

Dance

山崎 正博 (89回)



昨年8月に、かねてからの念願であったワインバーを原宿にオープンしました。オーストラリア・ワインにこだわったちょっと珍しいワインバーです。店は妻がメインでやっていますが、私もワインの仕入等の裏方としてサポートしています。カジュアルなお店ですので、気軽にお立ち寄りください。



山崎さんと
奥様の素子さん

ワインカフェ Dance

渋谷区神宮前1-21-15

原宿ATMビル5F

TEL/FAX03-3478-7177

<http://www.wine-cafe-dance.co.jp>

火~土 17:00~24:00 日 12:00~21:00

(12:00~17:00ランチ)・月定休日



寄稿 就職活動を終え新社会人として

柳通 こずえ(105回)

私は、現在、日本エアシステムの客室乗務員訓練生として訓練を受けています。訓練はとても厳しくテストテストの毎日で、たいへんではありますが、本当に毎日が充実しており、幼い頃からの夢に少しずつ近づいていることをとても嬉しく思いながら一日一日精一杯努力しているところです。私は客室乗務員になりたいという気持ちをどうしても捨てることができず、大学4年の春から今年の3月初めに内定をもらうまで、約一年間就職活動を続けました。春には、客室乗務員の新卒募集はなく、他業種を受けておりましたが、夏頃から募集が出始めたので、就職活動を再開しました。外資系の航空会社も含め、募集が出るたびに、受験しましたが、思うような結果が出ず、苦しくて泣いたことが何度もありました。しかし、常に前向きな気持ちを忘れず、負けそうになるたびに自分を奮い立たせ、夢に向かって何度もチャレンジをしました。本当になりたいという強い気持ちがあったからこそ、ここまで頑張ることができたのだと思いました。そして青山同窓会の先輩方に応援していただいたことは、とても心強い支えとなりました。同窓会に出席するたびに「どうだった?」「頑張ってたね。」などお声をかけて頂き、心配していただきました。そして内定の報告をした時も、一緒に喜んでくださいました。先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。そして良い報告ができ、本当に

良かったですと思っています。社会人として新たなスタートをきったわけですが、今後は今まで経験したことの無いような大変な思いをすることがたくさんあると思います。大きな壁にぶつかることもあると思いますが、自分で選んで自分で決めた道です。大変なことでも乗り越えていける自信があります。その時その

時を精一杯努力し、素直な気持ちでたくさんの方の事を吸収し、魅力のある人間に成長していきたいと思っています。

原稿募集中

編集部では、各回の楽しい同期会の報告の原稿や寄稿を募集しております。写真と共に事務局まで原稿をお寄せ下さい。

TOPICS 1

翻訳・出版

「天は、自ら助くる者を助く」Heaven helps those who help themselves. この一文は、英国人サミュエル・スマイルズが、1858年にSELF HELPとして出版した中にある。我が国では、中村正直訳の西国立志編として、明治四年に出版された。60年安保の最終日に、国会議事堂の周辺道路に徹夜して明けた朝に、岸首相らしき人物がヘリコプターで吊り上げられたのを望見したような記憶がある。その後の池田首相の唱えた、所得倍増計画に共感し、ひたすらスマイルズの言葉を信じて人生を生き抜いてきたのが実感としてはある。

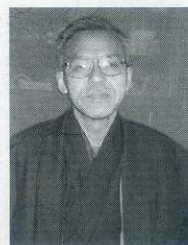
矢内原先生の作になる、ミルトン著・楽園喪失の訳の序文には、19世紀以来、神に対する批判的精神が風潮になり、合理主義的な考えに基づいて神を考え、聖書を解釈し、取捨選択するという人間中心の考え方をしてきたと説き、更にその思想的行詰まりが、政治的行詰まりとなって、20世紀の二大世界大戦になったとある。19世紀以来の批判的精神は、長所もあったが、重大な欠点は、人が神の上に立って、解り得る限りにおいて、神の存在を認めようというのであり、その傲慢な考えは、21世紀に入ったというのに、一歩も改まっていないと私は考える。

1997年に出版された、Marcia Angell著 Science on Trialは、シリコン製豊胸材とその集団訴訟を取り扱った労作であるが、その中に見過ごせない一文がある。1992年FDA長官ダビッド・ケスラーが、シリコン製豊胸材の禁止令を決めたとき既に、200万人とい

われる女性が30年の経験を積んでいたのである。その集団訴訟で、被告のダウ・コーニング社は、約43億ドルを原告側に支払い和解した。うち10億ドルは、関係する原告側弁護士に控除された。当時者側の1人と思われる、デニス・ダンビレーの次の一文は興味深い。Get your lawyers who can help you help yourselves. 吟味すれば、冒頭に書かれた、SELF HELPのheavenをlawyerに置きかえたのに酷似している。

「アメリカのビジネス(なすべき本務)は、ビジネス(商売)である」という言葉を、具現した当事者の所作を、広く社会に知らせたいというのが翻訳の動機である。

中山 俣彦(64回)



「裁かれた豊胸材」(近代文芸社)

〈監修監訳〉野一色恭晴(横浜市立大学医学部)
〈共訳〉
野一色いずみ(有限会社ナイセム)
山本睦子(四国学院大学)
中山俣彦(中山エコ研究所)
(原著) Science on Trial (W.W.Norton & Company)
(原著者) Marcia Angell, M.D (New England Journal of Medicine)

同窓生Yellowpagesその2

オーストラリア大使館 マーケティング事務所 木村和人(90回)

オーストラリアのパートナー、サブコン、資機材サプライヤーと一緒にプロジェクトをしませんか?

【実績】

陸上コンベヤー、空港機器、鉄道軌道工事、鉄道車両機器、太陽光発電システム、エンジニア派遣 etc.

海外での開発プロジェクトに携わっている皆様へ

〈連絡先〉

オーストラリア大使館
マーケティング事務所
第3国プロジェクトチーム

木村和人(90回)

TEL: 03(5214)0758

kazuto.kimura@austrade.gov.au



佐藤 邦雄(75回)

本間君は体格が良かったので高校に入学した日にすぐラグビー部にスカウトされたそうです。彼は中学の時に市の相撲大会で優勝したと後で聞いて、成程と納得する位良い体格をしていました。ラグビー部では中心的な選手でポジションはロックでした。ラインアウトでボールを入れるのが僕で、ジャンプするのが彼でした。ボールを投入れる時に「合言葉」を使って相手に悟られ無い様にボールを投げるのですが、「悦ちゃんW5」「楸松、唐松、赤松」「康ちゃん」とかの合言葉を考えたのも彼でした。夫々に僕らにしか解らない意味が有り、真剣さの中にはのぼのとした気持ちになりました。選手としてもかなり優秀で卒業時間関西の大学に誘われたとも聞いていました。後に京都大学の

竹本投手(東大)デビュー

2001年4月15(日)付新潟日報

2年生の頃、僕はほとんどクラブ活動に明け暮れていて「あわよくばスポーツで大学に入れないかな」などと思っていました。朝7時に起きて大急ぎで食事し、沼垂四つ角からバスに乗り、運が良ければ8時20分に学校に入れるという高校生でした。授業を受けた後、放課後は練習に専念しておりました。練習が終わり、バスに

ご冥福をお祈りします

NIGATA TSUSHIN · NIGATA TSUSHIN · NIGATA TSUSHIN · NIGATA TSUSHIN ·

新人歓迎会 講演会

講演タイトル

「新潟と2002年ワールドカップ」

牛木 素吉郎 (59回)

— 講師紹介 —



うしき そきちろう
牛木 素吉郎 (59回)
兵庫大学
経済情報学部教授

兵庫大学経済情報学部教授。県立新潟高校、東京大学文学部社会学科卒業。東京新聞運動部、読売新聞運動部、編集委員を経て1993年から大学に。

読売新聞で30年以上にわたってスポーツ記者を勤め、その間に現在のJリーグ・東京ヴェルディ1969年の前身である「読売サッカークラブ」の設立にかかわった。

サッカージャーナリストとして、サッカー専門誌「サッカーマガジン」(現在は週刊)に創刊以来現在まで35年にわたって時評を連載し続けている。1994年度ミスノ・スポーツライター賞受賞。

サッカーのワールドカップは1970年メキシコ大会以来、前回のフランス大会まで8回連続取材している。著書「サッカー世界のプレー」(1970年、講談社)はワールドカップの歴史、技術、戦術を本格的に日本に紹介した最初の本である。

2002年ワールドカップ会場の新潟県への誘致に尽力し、現在、ワールドカップ新潟県準備委員会常任委員。

TOPICS 3

平成13年度春の叙勲 勳2等瑞宝章を以下2名の方が受賞されました。

石田 恒良 (56回)
山中 紀行 (56回)

平成13年度 東京青山同窓会
新人歓迎会のお知らせ

【日時】

平成13年6月22日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開始

【会費】

一般・8000円

女性・5000円

大学生・3000円

新人・2000円

【会場】

東京・紀尾井町

ホテルニューオータニ

「おり鶴・麗の間」

(本館アーケード階)

千代田区紀尾井町4-1

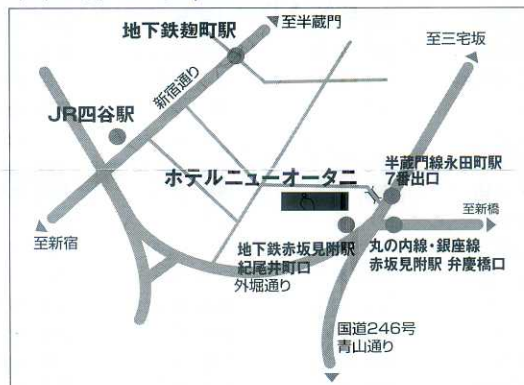
TEL. 03-3265-1111 (代)

【講演会】

講演テーマ「新潟と2002年ワールドカップ」

【懇親会】

buffetパーティー



最寄り駅

【永田町駅・徒歩3分】半蔵門線(7番出口)

【赤坂見附駅・徒歩3分】丸の内線・銀座線(紀尾井町口)

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを
明記し、右記の費用(切手にて)を同封
の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

同窓会年会費
自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらない「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の新人歓迎会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が
省けます

振替手数料が
無料になります

IDカードとして
お持ちください

平成12年度・会費納入者一覧

H12.10.1～H13.4.30現在まで

36回(1名)	50回(8名)	小島 直孝	大島 洋一	杉山 由人	65回(9名)	大場 菊代	藤井 建一	大須賀 郷子
斎藤英四郎	池田 成徳	小松 重男	小熊 英夫	助川 孝雄	阿部 正男	小飯塚 豊	藤縄 利勝	太田 淑子
37回(1名)	小黒 晴夫	近藤 源也	小村 幸久	関矢 和男	宇佐美 快昭	斎藤 誠	本間 彰	加藤 仁
馬場 幸一郎	瀬谷 誠	斉川 和平	園城 英二	高橋 駿	川合 英次	鈴木 莊太	本間 裕作	島津 孝
38回(2名)	敦賀 博	坂井 洲二	笠井 駿	竹尾 昇	久保田 泰雄	高橋 直樹	三富 修	野村 陽太郎
高野 政夫	時田 勇司	佐藤 幸喜	櫛谷 全一	田中 宣	三林 輝夫	高橋 則子	村山 勝	星野 郁夫
丸山 岩三	中村 晴信	残熊 謙一	栗林 貞一	田村 文男	渋谷 皓	72回(17名)	山崎 信行	丸山 祐一郎
40回(3名)	藤井 義良	塩見 戎三	栗林 洋	長沼 雄峰	関 英一郎	阿部 正憲	76回(16名)	水野 智
会田 俊雄	松原 明	柴垣 寛	小池 和男	長橋 徳衛	岡本 和親	荒川 幸夫	天野 直二	山崎 辰男
小山 賢市	51回(6名)	白勢 陽一	河野 誠	中村 正春	吉田 治彦	石田 庄	小田 高久	85回(10名)
高田 信川	上野 仁	菅原 惇	小城 一廣	長谷川 義明	66回(17名)	宇田川 由美	海部 和史	雨木 若慶
41回(4名)	大滝 映夫	鈴木 正身	小峰 謙二	長谷部 良雄	阿部 三男	金巻 裕史	久住 治	今井 豊重
伊藤 一雄	笠原 仰二	鈴木 正安	眞田 八東	丸山 通夫	内田 定寛	神林 賢治	柴田 明雄	奥村 基
布施 栄信	坂野上 啓	鈴木 寧	茂泉 喜彦	山田 充	川上 肇	熊谷 忠二	鈴木 茂夫	久保田 浩一
星名 孝平	田中 芳彦	清野 誠二	洪水 幸三	62回(16名)	木下 功	齊藤 俊正	田澤 康樹	笹川 康雄
真島 輝四郎	千葉 繁太	高見 久義	下條 貞友	安食 恒昭	熊谷 國男	島村 礼子	田中 邦直	杉林 亨
42回(3名)	52回(7名)	田代 九郎	高橋 正利	池田 昌之	捧 精一郎	菅又 滋	太原 まゆみ	戸枝 秋夫
片山 彦三	阿部 和夫	建部 恒彦	高山 昇二郎	石黒 恒	佐藤 文孝	高橋 忠	田村 俊作	西山 信好
塩谷 正雄	金居 直	田巻 宏治	長島 一郎	岩田 亮司	塩谷 芳彦	高橋 祐介	長北 学	長谷川 正
高橋 二郎	北村 新平	田村 量一	長崎 敏雄	内山 隆之	富所 拓男	田中 一成	林 誠	森 大輔
43回(7名)	木原 陽	照木 仁	西野 武	小黒 昌一	中野 武彦	富田 由李	平野 茂樹	86回(3名)
小沢 省三	斎藤 茂美	中川 彰	花井 進	小池 健治	二宮 靖彦	松永 宏五	細谷 洋一	田中 利直
滝沢 義雄	斎藤 泰五郎	中川 邦司	藤原 幸雄	佐藤 勝彦	丹羽 真彦	若杉 克	湯本 雅恵	広田 淳子
田中 一郎	坂井 保也	長岐 豊	水沢 邦弘	佐藤 武司	野水 宏樹	渡辺 毅之	渡辺 拓	前田 智子
野澤 正男	53回(8名)	中島 顕	山崎 徳左衛門	鈴木 勉	村上 紀光	73回(3名)	77回(5名)	87回(4名)
本間 武	飯島 録良	中村 晃	山吉 一成	田子 元	室 由紀子	遠藤 裕久	神戸 裕	清水 忠明
本山 信城	岩原 昭	中山 昭一	若木 滋	中村 義一	吉田六左エ門	中野 治	北村 一雄	田口 操
渡辺 千尋	近 泰男	成田 順治	60回(26名)	中山 敏彦	鷲頭 陽一	成田 常也	斎藤 實	南 正人
44回(5名)	近藤 圭二	庭山 六郎	石田 章	水戸 久昭	67回(9名)	池 一	長谷川 実	渡辺 政城
倉 耕一	佐藤 良策	花井 謙二	市村 哲	本井 孝至	一柳 肇	石井 拓男	山田 民夫	88回(6名)
斎藤 伸雄	高田 鴻一	落谷 硯児	岩田 暁一	山本 真弓	大野 隆治	石山 范	川村 和共	今井 信一郎
坂井 健一	中島 常雄	伏見 康	小川 秋実	63回(8名)	片桐 靖忠	和泉 調	篠田 敏朗	小竹 聡
錦織 登美夫	渡辺 義隆	堀 藤四郎	落合 夏樹	五十嵐 信一郎	齊藤 久美子	岩城 修平	清田 潔	長谷川 隆
広川 勇一郎	55回(6名)	増田 祐孝	金山 常吉	今井 亘	高橋 三郎	江口 則男	肥田 博子	前田 豊
45回(5名)	阿尻 威吾	松井 昭五	切貫 久司	笠原 恵	高橋 信夫	大滝 均	松本 洋	諸橋 博樹
大滝 俊夫	千葉 繁治	三上 昌	小出 直	會 正之	皆川 学	小木 恵介	向井 美夜子	吉岡 潤
川村 明義	中村 正義	三崎 正一	小山 彦	白倉 至	山田 尚男	加藤 直久	79回(6名)	90回(2名)
品田 弘	中村 幹男	宮田 和明	近藤 純夫	高橋 良行	吉田 一郎	加藤 博	小田 章治	木村 和人
野瀬 秀雄	水澤 悠紀郎	宗村 慎三	鈴木 章司	西村 允	68回(7名)	加門 文隆	河 正子	田辺 文
馬場 義輔	村山 義夫	村松 茂樹	高城 英雄	村山 弘義	小野塚 芳雄	菊池 隆	川合 清司	91回(1名)
46回(2名)	56回(72名)	山口 和郎	高橋 明男	64回(27名)	熊谷 尚武	佐藤 浩	川合 清司	酒井 祐司
上杉 栄一	赤坂 長弥	山城 教成	高橋 正樹	青野 啓	後藤 林八	高橋 保	斎藤 浩爾	92回(1名)
山田 市男	朝比奈 和三	山田 幸輝	千葉 潤	植村 朝音	小日向 信光	波多腰 明	西口 幸男	白坂 和久
47回(4名)	阿部 弘昭	山田 隆男	徳田 浩一	太田 健治	斎藤 健弥	樋浦 はるを	星名 健二	95回(1名)
木村 和郎	荒井 宏	山中 紀行	富山 和夫	柄沢 茂	増子 藤男	75回(29名)	高橋 直人	橋田 篤英
小杉 吉二郎	飯島 昌弥	山本 幸正	中田 亨	川口 徹	渡辺 千鶴	有蘭 順子	81回(7名)	97回(1名)
斎藤 しょう太郎	石田 恒良	渡辺 友也	長谷川 秀三	川崎 明	69回(8名)	伊藤 公	荒川 秀樹	渡邊 英典
吉田 六郎	石原 国弘	57回(2名)	早武 正博	木山 清	岩尾 信宏	岩淵 博	尾山 尚	102回(1名)
48回(4名)	市川 千尋	小野塚 彰	廣瀬 欽次郎	坂井 俊一	小黒 朋弘	植村 由規夫	上村 隆	池田 哲郎
小池 清泰	伊藤 昶	川口 政行	藤本 剛	坂井 敬	佐藤 孝靖	大越 公平	近藤 敦	103回(2名)
佐藤 素一	井上 菊雄	58回(9名)	益子 恒徳	坂本 昌弘	外川 克之	大塚 恵子	笹川 典男	土田 真大
田中 利男	指宿 叡	植村 末哉	丸山 敏視	佐藤 章	長浜 勝介	大原 哲三	佐藤 浩秋	松原 有里枝
渡辺 徹	今井 忠平	片桐 欣哉	宮田 庄之助	嶋岡 洵	服部 千尋	岡田 政文	玉木 勝一	106回(1名)
49回(12名)	内山 二	佐藤 明夫	山本 淳夫	清水 良男	樋口 正臣	川上 滋	82回(5名)	野本 裕史
池田 純一	大谷 紳児	福田 満	61回(25名)	新谷 昂司	松尾 健司	國兼 道博	日下部 朋子	107回(2名)
井上 正	大野 利夫	細貝 実	赤堀 和郎	高橋 正幸	70回(10名)	後藤 輝雄	小池 康男	五十嵐 悠介
岡本 治雄	鹿見島 昌雄	堀内 俊夫	安宅 久憲	田才 邦彦	石井 堅一	斎藤 章二	斎藤 滋	小橋川 嘉樹
梶山 勝清	加藤 勝則	村山 保	伊藤 英子	田巻 亮	猪口 孝	佐藤 邦雄	西山 活子	108回(2名)
梶原 計佐	金子 昌次郎	本永 祐嗣	大橋 恒夫	津野 慶浩	岡田 利邦	曾我 正男	吉田 実	杉田 こそえ
倉田 資孝	川田 幸雄	山谷 晴栄	風間 博	中島 仁	金子 正史	高橋 正	浅間 芳朗	清野 悠太
佐藤 博	北村 晴四郎	59回(32名)	河井 良三	中山 慎彦	川田 昌人	田辺 省一	大沼 敏夫	83回(6名)
滝沢 信義	木村 直平	阿部 進	川崎 栄一	西野 貢司	小林 繁雄	玉木 廣	千田 武	橋爪 博美
仁保 武人	久慈 正彦	五十嵐 正男	木村 政雄	星 満	関根 俊明	橋爪 博美	波田野 直樹	萬歳 信行
濱 博世	久保田 剛敏	板井 裕	小池 弘	堀 健次	田辺 豊	高橋 正	杉本 信昭	71回(7名)
廣川 浩一	幸田 慶治	牛木 素吉郎	小嶋 哲夫	三國 六朗	土田 進	田辺 省一	山口 虎彦	太田 裕
広川 弘	小嶋 秩夫	梅澤 貞雄	小林 元雄	山根 伸之	渡辺 允雄	萬歳 信行	84回(9名)	

感謝

56回学年幹事宗
村祐三氏のご尽
力により、72名の
会費をご入金い
ただきました。
(事務局拝)